

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 : 中空糸フィルターキャップ
R F 0 0 0 2 2 5

会社名 : 株式会社東洋製作所
本社住所 : 〒277-0861 千葉県柏市高田1335
担当部門 : 製造部 大阪工場 品質管理課
電話番号 : 072-967-1360
F A X : 072-967-1370
緊急連絡電話番号 : 上記担当部署



推奨用途および使用上の制限 : 蒸留水・純水・超純水製造装置の濾過用部品

2. 危険有害性の要約

G H S 分類区分 : 該当しない
物理化学的危険性 : 分類対象外
人への健康有害性 : 分類できない
環境有害性 : 分類できない
G H S ラベル要素 : 絵表示なし

3. 組成及び成分情報

単一物質・混合物の区別 : 混合物
化学名または一般名 : 中空糸フィルターキャップ

主成分 : ポリカーボネート (キャップ°筒部分)
エチレン・1-ブテン共重合体 (キャップ°蓋部分)

化学式又は構造式 : ポリカーボネート $(C_{10}H_{14}O_3)_n$
エチレン・1-ブテン共重合体 $(C_2H_4)_n(C_4H_6)_m$

官報公示整理番号 : ポリカーボネート 化審法：(7)-738
エチレン・1-ブテン共重合体 化審法：(6)-18

C A S 番号 : ポリカーボネート 25971-63-5
エチレン・1-ブテン共重合体 25087-34-7

国連分類 : _____
国連番号 : _____

4. 応急措置

- 眼に入った場合 : 溶融物の場合は、直ちに清浄な水で15分以上冷やすと同時に洗浄し、医師の診断を受ける(キャップ筒部分)。
- 皮膚に付着した場合 : 溶融物の場合は、直ちに清浄な水で冷やす(キャップ筒部分)。
皮膚上で固まった樹脂は無理に剥がさない(キャップ筒部分)。
火傷があれば医師の診断を受ける。
- 吸入した場合 : 溶融物から発生するガスを吸い、気分が悪くなった場合は、直ちに新鮮な空気のある場所に移し、医師の診断を受ける(キャップ筒部分)。
- 飲み込んだ場合 : 直ちに吐き出させる、異常を感じるようであれば医師の診断を受ける。
-

5. 火災時の措置

- 消火方法 : 燃焼時に、炭酸ガスの他に一酸化炭素などの有害なガスが発生するため注意を要する(キャップ筒部分)。
消火作業の際は保護具を着用する(キャップ蓋部分)。
- 消火剤 : 水、二酸化炭素、粉末消火剤、泡消火剤、ドライケミカル。
-

6. 漏出時の措置

- 成型品なので、漏出時の措置は特にない。
廃棄の方法は、「13. 廃棄上の注意」に従うこと。
-

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い : _____
- 保管 : 水分、湿気、強酸化剤、熱源、火源との接触は厳禁。
直射日光の当たらない常温の室内で静電気災害を防止する対策をとり保管する。
-

8. ばく露防止及び保護措置

- 管理濃度 : 設定されていない。
- 許容濃度 : 設定されていない。
- 日本産業衛生学会 : 設定されていない。
- ACGIH勧告値 : 設定されていない。
- 設備対策 : _____
- 保護具 : 必要に応じて使用する。
-

作成日 2016年 1月14日

改訂日 - 年 - 月 - 日

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態	:	透明の円錐台形状 乳白色の円筒形状	(キャップ°筒部分) (キャップ°蓋部分)
臭い	:	なし	
融点	:	240℃以上 120～130℃	(キャップ°筒部分) (キャップ°蓋部分)
引火点	:	522℃以上 約340℃	(キャップ°筒部分) (キャップ°蓋部分)
溶解度	:	水に不溶	
自然発火温度	:	550℃以上 >400℃(推定)	(キャップ°筒部分) (キャップ°蓋部分)

10. 安定性及び反応性

安定性	:	通常の条件下においては安定である。
反応性	:	通常の条件下においては安定である。
可燃性	:	あり。
危険有害反応可能性	:	データなし。
危険有害な分解生成物	:	300℃以上の高温で分解し、炭化水素および、その酸化物(アルデヒド、酸、アルコールなど)を生成する(キャップ°蓋部分)。

11. 有害性情報

急性毒性	:	データ不足のため分類できない。
皮膚腐食性・刺激性	:	データ不足のため分類できない。
眼に対する重篤な損傷・刺激性	:	溶解時に発生するガスは眼を刺激することがある(キャップ°筒部分)。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	:	溶解時に発生するガスは皮膚を刺激することがある(キャップ°筒部分)。
生殖細胞変異原性	:	データ不足のため分類できない。
発がん性	:	IARCグループ3(人に対する発がん性は評価できない)に分類されるが、データ不足のため分類できない(キャップ°蓋部分)。
生殖毒性	:	データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性	:	
全身毒性－単回暴露	:	データ不足のため分類できない。
全身毒性－反復暴露	:	データ不足のため分類できない。
吸引性呼吸器有害性	:	データ不足のため分類できない。
その他	:	データなし。

作成日 2016年 1月14日

改訂日 - 年 - 月 - 日

12. 環境影響情報

水生環境有害性（急性有害性）

： データ不足のため分類できない。

水性環境有害性（慢性有害性）

： データ不足のため分類できない。

残留性・分解性

： データなし。

生体蓄積性

： データなし。

土壤中の移動性

： データなし。

オゾン層有害性

： データなし。

その他

： 環境汚染ならびに海洋生物、鳥類などが摂取することを防止するため、いかなる海洋や水域でも、投棄、放出してはならない。

13. 廃棄上の注意

該当法規に従い、廃棄物処理を行う（国、都道府県ならびに地方自治体の法規、条例に従う）。

一般産業廃棄物と同様に、都道府県知事が許可した産業廃棄物処理業者もしくは、地方公共団体がその処理を行っている場合には、その団体に委託して処理をする。焼却処分するときは、管理された焼却施設を用いて、大気汚染防止法、廃掃法、水質汚濁防止法などに沿って処理する（廃棄時には、産業廃棄物として処理することをおすすめします）。

14. 輸送上の注意

国連番号

： 非該当

品名

： 非該当

国連分類

： 非該当

容器等級

： 非該当

海洋汚染物質

： 非該当

安全対策

： 「7. 取扱い及び保管上の注意」に記載に従う。

15. 適用法令

廃掃法

： 産業廃棄物、廃プラスチック類に該当する。

作成日 2016年 1月14日

改訂日 - 年 - 月 - 日

16. その他の情報

記載内容の取扱い

本データシートの記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。

また、含有量、物理・化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではなく、注意事項は通常の実用性を対象としたものですので、特別な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。

ご需要家各位は本シートを参考にして、自らの責任において、個々取り扱いなどの実態に応じた適切な措置をお取りくださいますよう、お願いいたします。

参考文献

- ・ GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル、作業場内の表示及安全データシート (SDS) (JIS Z 7253:2012)
- ・ 樹脂ペレット流失防止マニュアル、プラ工連 (1994)
- ・ 廃プラ Q&A, 工業用熱可塑性樹脂技術連絡会 (1992)
- ・ R. M. Asseva and G. E. Zailtov: "Combustion of Polymer Materials" Hanser Publishes, P46 (1986)
- ・ 粉体と工業 1984年5月号 66ページ
- ・ プラ工連ニュース No 48, プラ工連 1979.11.1
- ・ G. Bormann et al., Arzneimittel-Forsch., 9, 9 (1970)
- ・ PC技術研究会資料 (1994)